

第6回国際根研究学会シンポジウム

The 6th ISRR Symposium

2001年11月11日-15日・名古屋大学

1. スケジュール

- 11月11日(日) 登録・ミキサー
- 12日(月) 開会式・シンポジウム(ポスター発表を含む)
- 13日(火) シンポジウム(ポスター発表を含む)・懇親会
- 14日(水) シンポジウム・総会・閉会式
- 15日(木) エクスカーション(コースによって翌日まで)

2. 開催場所: 名古屋大学(愛知県名古屋市)

3. 主催団体: 根研究会(JSRR)および国際根研究学会(ISRR)

4. メインテーマ

根: 植物と地球をつなぐダイナミックなインターフェイス

Roots: The Dynamic Interface Between Plants and the Earth

5. セッションおよびトピックの候補

- (1) 形態・生育(不定根・側根・根冠・根毛・機能形態・根系形成など)
- (2) 屈性と根の伸長方向(重力屈性・水分屈性・光屈性・電気屈性など)
- (3) 生長制御(植物ホルモン・生長生理学・細胞壁の物理・化学性など)
- (4) 遺伝学・分子生物学(遺伝的変異・突然変異体・形態形成制御など)
- (5) 植物栄養学(無機イオン吸収・炭素や窒素の吸収・同化・分配など)
- (6) ストレス生物学(水・塩・重金属・温度・二酸化炭素・土壌物理性)
- (7) 根による環境の修復(緑化・植林・バイオレメディエーションなど)
- (8) 生態(自然植生の根系構造やその遷移・地上部地下部関係など)
- (9) 農業・園芸・林業(1年生・永年生植物の根系、収量形成など)
- (10) 根圏(菌根・根粒・粘液物質の分泌、根と微生物との共生など)
- (11) 研究方法(ミニライゾトロンや中性子法による形態と機能の可視化など)
- (12) モデリング(フラクタル解析・トポロジー解析・生育・機能モデルなど)

6. プロシーディングなど

- (1) プロシーディング: 1人2ページ以内の短編論文集を当日、配布予定。
- (2) 学術論文: 編集委員会を通じて国際誌(Plant and Soil)に投稿予定。
- (3) 学術書: Kluwer Academic Publishers(オランダ)から後日、刊行予定。

7. 問い合わせ先

- (1) 森田茂紀(組織委員会委員長・国際根研究学会副会長)
東京大学大学院農学生命科学研究科(〒113-8657 東京都文京区弥生)
TEL: 03-5841-5465, FAX: 03-5841-5070
E-mail: anatomy@hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp (1999年8月31日まで)
anatomy@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp (1999年9月1日から)
- (2) 国際シンポ用ホームページ: <http://www.imicom.or.jp/~jsrr/isrr/>
サーキュラーを掲載するほか、参加申込みなどもホームページで行う予定です。
この案内の内容は変更の可能性があります。随時ホームページなどでご確認下さい。